2026年度東北地区国立大学法人等技術職員研修　参加報告

技術第3班　伊藤　眞子、〇志村良一郎

1. はじめに

東北地区国立大学法人等の教育・研究支援系技術職員に対し、講演、技術発表及び実技等を通して、高度の専門知識及び技術等を修得させ、職員の資質の向上等を図ることを目的とする。

2. 開催概要および日程

2026年9月16日（水）から9月18日（金）の3日間に対面及びオンライン（聴講）にて開催された。今年度の主幹校は東北大学片平キャンパスである。

＜1日目＞　9月16日（水）

12:00-　受付（オンライン接続）

12:50-　開講式（ガイダンス、自己紹介等）

13:30-　講演①
「装置開発を楽しむ―磁性材料研究とNano Terasu」
国際放射光イノベーション・スマート研究センター
教授　中村　哲也

14:30-　講演②
「半導体量子コンピュータ研究と研究基盤技術」
電気通信研究所
教授　大塚　朋廣

15:30-　技術発表（ポスター発表）

17:15-　情報交換会

＜2日目＞　9月19日（木）

7つのグループに分かれて全日実技研修が行われた。加工からネットワーク、分析など専門的テーマから安全衛生にわたり幅広い分野の実習テーマが組まれていた。

＜3日目＞　9月20日（金）

09:00-　技術発表（口頭発表）
（対面・オンライン方式）

13:15-　閉講式
（2日目の実技研修の成果報告も同時に実施された）

閉講式後に希望者を対象とした施設見学も実施された。

3. 研修(講習)内容

3-1. 基調講演について

東北大学の中村教授より左記の題目で講演①が行われた。磁性材料研究に進むことになった経緯とその過程で設計・開発してきた数多くの測定装置について講演があった。Nano Terasuなど最先端の研究設備についても知ることが出来た。２件目の講演は同大学の大塚教授より左記の題目で行われた。両講演ともに電気・情報分野における専門性の高い内容であったが、我々のような他分野の技術職員にも理解できるよう配慮された分かりやすく内容であった。研究と技術職員との関わりについても触れられており、大学職員のレベルの高さを再認識した。

3-2. 技術発表について

1日目に行われたポスター発表にて、志村が「地産地消を目的とした庄内産大麦の発芽と糖化に関する取り組み」というタイトルで発表を行った。20件のポスター発表があり、参加者からは様々な意見や質問が自由に飛び交い有意義な時間となった。3日目に開催された口頭発表にて伊藤が「外来種ブラックバス魚粉肥料の開発と実証試験－多様な主体が関わった地域課題解決型研究の実践－」というタイトルで発表を行った。高専での取り組みについて大学職員などから活発な質疑があった。

3-3. 実技研修について

2日目に行われた実技研修において伊藤が生物・生命科学群テーマの「ハンズオン・メタセコイア　太古の形に触れる」、志村が安全・保守

管理群テーマの「居室及び実験室巡視マニュアルの作成」をそれぞれ受講した。以下にテーマごとの日程を示す。

研修テーマ（伊藤）

生物・生命科学群テーマ「ハンズオン・メタセコイア　太古の形に触れる」※図１

午前中　・参加者自己紹介およびアイスブレイク
・東北大学金属研究所敷地内にあるメタセコイアの見学と説明
・霊屋下セコイア類化石林の見学
・東北大学植物園内のメタセコイアと近縁種と亜炭の観察

午後　講演①
「生きていた化石-メタセコイア-」
大山幹成　植物園副園長
講演②
「メタセコイアの自生地（中国湖北省利川市を訪ねて）」
大内巧　技術専門職員
実習
メタセコイア毬果紙模型の作製・観察

研修テーマ（志村）

安全・保守管理群テーマ「居室及び実験室巡視マニュアルの作成」※図２

午前中　・参加者自己紹介およびアイスブレイク
実習①「居室巡視」
・居室巡視マニュアルの作成（グループワーク）
・グループで居室巡視
・巡視マニュアルの修正と発表（グループワーク）

午後　実習②「実験室巡視」
・実験室巡視マニュアルの作成（グループワーク）
・グループで実験室巡視
・巡視マニュアルの修正と発表（グループワーク）
・まとめ、意見交換、情報提供
・施設見学

4. おわりに

自身３回目の参加になった本研修では、普段関わる機会のない大学の技術職員との交流を持つことが出来、有益な情報共有を図ることが出来た。また、業務の専業さや多様さなど高専技術職員とは異なる業務に大きな刺激を受けた。本研修から得られた知見や経験を基に、本校における技術支援の充実につなげていきたい。

最後に、多種多様な実習テーマの選定や日程調整等、スムーズな研修会を実施していただいた東北大学片平キャンパスの皆様には感謝申し上げたい。



図１　大学敷地内のメタセコイア

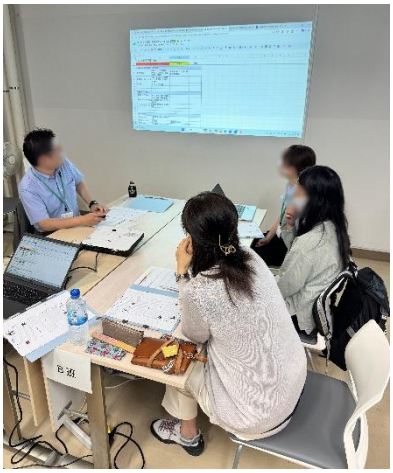


図２　巡視マニュアル作成グループワーク